

高知県黒潮町の取り組み事例

背景

- 黒潮町における南海トラフ巨大地震の想定津波高は34.4m。
- 「避難をあきらめる」、「津波リスクを嫌ってまちに住むことをあきらめる」雰囲気住民に蔓延。

黒潮町の取り組み(「犠牲者ゼロ」を目標)

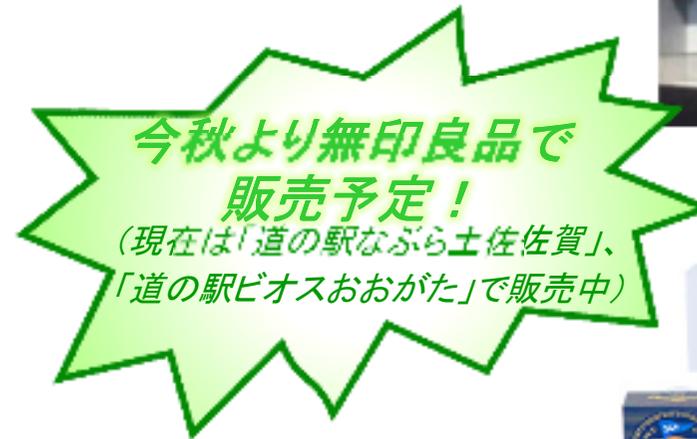
○「We Can Project」

- ◇発災時の非常食の確保
- ◇町内の雇用の場の創出(黒潮町による第三セクター設立)
を主な目的として、地域の食材を利用した缶詰を製造・販売

(5つのコンセプト)

- 避難を、ふるさとを、「あきらめない」
- 避難した後の「食」で「職」をつくらう
- 「食べられない」も救いたい
- 非日常こそ、「おいしく」
- 非日常で日常を取り戻す「食」

- 上記の他、浸水予測地域(40地区283班)を対象に「戸別津波避難カルテ」を作成し、住民に避難方法及び避難経路を認識させるなどの取り組みを実施



株式会社黒潮町缶詰製作所



地元の食材を詰め込んだ各種缶詰

問い合わせ先: 黒潮町役場 産業推進室